

あかつき



写真・忍野八海から望む富士山(撮影：T・T)

スポット

- ・新年あいさつ
- ・おまつりに参加しました
- ・我が家のペット自慢
- ・研修報告
- ・新人紹介

第86号 二〇二四年一月三十一日発行
発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー
〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一六四一
☎〇四二一五六〇七八四〇
<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp



新年あけましておめでとうございます。あかつきコロナが社会福祉法人として正式に認可されて、今年で五十五年になりました。当時、父と神奈川大学教授の川上幸一氏の二人で発起した団体は、現在職員八十四名、利用者を含め合計で二〇〇名を超える法人に成長しました。

写真①はその父が五十七歳の時に、私の留学先のハイデルブルグの古城の中で一緒に撮ったものです。父が大相撲宮城野部屋の後援会長だった関係で、ルフトハンザ航空の支配人の計らいで贈られた往復航空券で一週間ヨーロッパを観光旅行した時のものです。

写真②は革のトレイです。私の古くからの友人が蔵前で革ベルトの製造をしていましたが、主力の英国バーバリー社とのライセンス契約が終了し、大量の皮革材料が余りました。その材料を購入し、キーホルダー、バスケース、トレイ等様々な小物を製品化しました。最近ありがたいことに、ある会社からお年賀用にとまとめてご注文頂く機会がありました。まだ材料も残っていますし、仕入れの伝手

もございますので、皮革製作は続けていきたいです。

今年の法人の動きで触れなければならないのは法人施設の建替えです。現在の建物は築五十年近く経っており、かなり老朽化が進んでいます。当初は東京オリンピック後に本格的に建替えに着手する予定でしたが新型コロナウイルスの流行により思うように事を進めることが出来ませんでした。今年度に入りようやく東京都との協議に入り施設整備補助の申請にこぎつけることができました。建替え中の仮移転先も何とか決まり、この新聞が発行される頃には契約も済んでいる予定です。建替えに向けた課題はまだありますが一つ一つ取り組んでいる状況です。今夏に施設整備補助申請の結果が出る予定です。仮に補助申請が通れば秋頃より建替えに着手することになりますし、申請が通らなければ建替えは先延ばしになります。話一転、私の経営する（有）鈴木工業の三郷工場は昭和四十一年頃に、サッポロビールの壘の蓋（通称「王冠」）の製造専門工場



あけましておめでとうございます。

新型コロナも昨年5月に5類に移行し、インフルエンザと同程度の基準に下がりましたが、5類移行後も沈静したわけではなく、現在でも感染は続いています。あかつきコロナでは引き続き感染防止対策を継続しており、皆様のご協力のおかげで、少数の感染者で今日に至っております。インフルエンザも発症する方は出ていますが、コロナ同様最小限に抑えられている状況です。

昨年は年間行事もほぼ通常に戻り、春・秋のレクリエーションは外に出かけて楽しい時間を過ごせましたし、8月に当所で行っている子ども交流会の開催、秋には地域の福祉まつり等にも参加しました。とは言え依然クラスターに陥っている施設の話も聞きますし、引き続き気を引き締めて感染防止対策を続けていきたいと思えます。あかつきコロナでは地域における障がいがある方の総合的な就

として設立しました。約四百坪の土地に百坪の建物で従業員は十人程でした。設立から僅か二年程で父が他界したため、私は当時勤めていた赤井電機を退社して父の後を継ぎました。入社してから本社は主に金属プレスー郵政省関係の郵便袋の付属品の製作ーを行っていました。郵便ポストがダルマから箱型に丁度変わる時で、全国のポストが箱型に変わるわけですから大変な数です。その新ポスト用の郵便袋の付属品の殆どを我が社で製造しました。一方で、工場

で製造していたビールの王冠は目標生産数を殆ど満たせず、利益率は悪くなりました。当時、ビールの主流が壘から缶へと徐々に移行しつつある時期でした。年々王冠の受注が減少していたことに加え、不良品を出してしまいました。そこで私は結論を出しました。王冠製造をやめました。そこらが大変でした。工事現場のバリケード、建築金物、郵政省関係の自社製品等様々な金属加工をしました。数年経ってサッポロビールの資材部からダミー缶の蓋の巻締加工の話が舞い込んできました。自販機販売の見本用に空のビール缶に蓋を巻いて出荷するという話です。その後、アサヒがスーパードライを発売したら、各社で商品名にドライトと冠したビールを発売し始めた

伸ばし利益を確保していくことが重要です。障がい者施設は単価等で低く抑えられがちな実態があることも聞きますが、取引交渉にも長けたスキルが私たちに求められていると思います。

一方就職支援は年々登録者が増え、二つの就労支援センターを合わせて現在590人程の登録者数になっています。今年度も両センター合わせて36人が就職に繋がっていますが、センターの業務的には就職支援と同時に、就職後の定着支援と就労を支える生活支援に多くの比重が掛かっており、年々比重が重くなっていると感じます。

ここで障がい者の雇用率について触れますが、民間企業における障がい者の法定雇用率は平成23年度以降引き上げられています。今年4月より2.3%から2.5%に上がり、令和8年7月には2.7%に上がることが決まっています。また今年4月より短時間労働者も雇用率算定の対象となり、今までは週20時間以上が算定基準でしたが、来年度からは週10時間以上20時間未満も雇用率の算定に含まれることになりました。

このことは更に障がいがある方の雇用が促進されていくことになり追い風になると思いますが、よ

ことでダミー缶の需要がすごく伸び始めました。それから暫くダミー缶の製造は順調でしたが、二十歳未満の飲酒問題でアルコール飲料の自販機販売が停止となり、ビールのダミー缶は殆ど出なくなり

しました。ダミー缶の減少を本社のプレス加工で補填していましたが、平成十八年頃より工場の解体を始めました。当然、従業員の反対運動等様々な問題がありましたが、今となつては間違えた選択ではなかったと思います。工場ではこの五十年間で十種類位の仕事をやってきました。現在（有）鈴木工業で残った事業は東京都消防庁のホースを巻くベルトの加工です。解体費を捻出する為に上野の実家を売却しました。現在は妻と二人で残った消防庁の仕事をしています。父が同じ時期にあかつきコロナと会社の工場を設立し、そして工場の閉鎖と時期をほぼ同じくし



写真①



写真②

であかつきコロナでは約五十年続いたオイルエレメントの組立て作業を昨年閉鎖しました。

長く事業をしていると必ず波があります。常に安定しているという事はありません。経営者は時勢を読みながら常に決断を迫られます。難しい状況で厳しい決断を強いられることもあります。あかつきコロナは建替えを機に新たな福祉事業を開始します。一方で就労支援事業は長年続けてきた事業に変わる新しい事業を確保していかなければなりません。これから新しい一歩を踏み出す大きな波に差し掛かっていると言えます。

あかつきコロナが困難を乗り越えながらここまで来られたのも皆様のお力添えのおかげです。皆様方には、感謝致しますとともにこれからの法人の活動を見守って頂きたい今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

り障がい重い方にも就職機会が増えることになると思います。就職機会が増えることは悪いことではありませんが、今の雇用制度は雇用率のみ前のめりの傾向があり、受け入れる職場環境や支援体制が追いついていないと思えず、結果として定着率の低迷に繋がっていると思われま

の受け入れと医療ケアの実施、機械浴槽による入浴サービスを行う予定です。新設される建物は鉄筋コンクリート造4階建て、1階に生活介護、計画相談、障害者就労支援センター、本部事務所が入り、2階は就労継続支援B型（身体、知的障がい）、3階は就労継続支援B型（精神障がい）と就労移行支援、4階は食堂と会議室が入ります。また工事期間中は別の場所に仮移転して現事業を継続していきますが、スペース・まどかは村山団地中央商店街の空き店舗に、あかつき授産所は現建物の近くにある法人所有の建物と村山団地中央商店街の空き店舗にそれぞれ仮移転していく計画を立てています。約1年半の仮移転での運営になり、その間利用者の皆様には不自由をお掛けすることになります。利用者や保護者の皆様には今後個別に説明していきますが、ご協力をお願いする次第です。また施設整備補助の申請が通らない可能性もあり、その場合計画は一年先送りになることもご承知おき頂きたい存じます。

最後に建替えについて触れたいと思います。現在法人の建物は古いもので築50年経過しており、かなり老朽が進んでいます。現在令和6年度の施設整備補助事業を東京都に申請しており、申請が通れば今年の秋には改築工事が行われる予定です。建替えは現建物を解体して同敷地にて新しい施設を建設する計画となっており、工事期間は約1年半で、完成は令和8年2月末頃になる予定です。建替え後には2つの就労継続支援B型を合体し定員70名とし、新たに生活介護（定員10名）を新設、また昨年廃止した就労移行支援を定員6名で再興し、合計86名定員の多機能型施設として生まれ変わる計画です。生活介護は重度心身障害者

本年も皆様のご指導、ご協力のもと障害者の自立支援、就労支援に尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

おまつりに参加しました。

新型コロナウイルスが2類から5類に移行してからでイベントが再開されるようになりました。のおまつりに参加してきました。おまつり参加の様子をご紹介します。



スレット等の小物類には「かわいい」等たくさんのお褒めの言葉を頂きました。販売スペースの場所には、市内の他事業所の製品や食品も販売されており、どれも魅力的な商品が多かったです。他の階では色々な催し物やバザーも行われており活気に溢れていました。今回で回れなかった箇所を次の開催時に回ってみたいと思います。
(作業部三課 田中 駿佑)

瑞穂町産業まつり

11月11・12日

福祉センターあゆみ

11月11日(土)12日(日)に瑞穂町産業まつりに参加しました。会場はスカイホールのビュウパーク競技場でした。

会場には約90団体のテントが並び、お食事の模擬店、フリーマーケット、雑貨販売の他、消防ポンプ車の展示や乗車体験も行われていました。特設ステージでは、バンド演奏、吹奏楽団演奏、フラダンス、ヒーローショー、ビンゴ大会など行われ、大人も子供も楽しめるステージでした。あゆみのテントでは自主製品を販売しました。ビーズのプレスレットとキーホルダー、シールで飾付けたマグネット、お年玉にも使えるポチ袋、光るクリスマスツリー、写真立て等々、毎日の活動の中で皆で作った沢山の商品をテーブルに並べて販売しました。

あゆみからは11日(土)に利用者11名、職員11名が参加、12日(日)は利用者9名、職員10名が参加しました。今回のような外部の行事では、朝、送迎車で利用者を迎えに行き、そのまま会場に直行します。職員は事前に別の車で会場へ行き、売り場の準備をしながら利用者の到着を待ちます。



福祉センターあゆみ

11日は日差しの暖かさがありませんでしたが、気温が下がりが寒い1日でした。職員・利用者を「お昼前に施設に戻るグループ」「午後もお祭りに参加してから施設に戻るグループ」に分けて行動しました。お祭りでは昼食を買ったり、ステージを観たり、自主製品の販売を行います。あゆみの商品は100円で買えるお手頃な商品が多いので、小中学生のグループです。その中でも、ビーズのプレスレットはカラフルで種類も多く、手に取ってもらいやすい人気商品でした。

12日は曇りがちで前日より一層冷え込みました。風邪などで体調を崩すことが心配されたため、利用者が午前中のみお祭りに参加して、午後は施設で過ごしました。私とセ

(利根川 正)

ンター長、送迎の運転手の方は午後自主製品の販売を続け、2日間でも切り切れる商品もありました。コロナ禍で中止されていたお祭りが再開し、皆で楽しい時間を過ごすことができて良かったです。

武蔵村山市福祉まつり

10月1日

あかつき授産所

十月一日(日) 四年ぶりの開催となる武蔵村山市社会福祉協議会主催「第二十六回福祉まつり」に施設紹介の展示及び販売で参加させていただきました。法人からは、「瑞穂町福祉作業所さくら」・「あかつき授産所」の革製品の出品・「瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみ」からの出品はプレスレットやマグネット・等小物の販売をしました。

四年ぶりの開催ということで、私自身福祉まつりへの参加は初めてでしたが、多くの事業所・団体の参加・来場者の多さに驚きました。武蔵村山市社会福祉協議会の報告によると、約一九〇〇名の来場者とのことでした。法人の販売コーナーへも多くのお客様にお越しいただき、ご家族連れの方やご年配の方には革製品が好評で、小さなお子様連れのご家族にはプレスレット等の小物が好評でした。革製品に対しては「おしゃれ」プレスレット等の小物類には「かわいい」等

令和5年10月29日の日曜日。通常であればさくらはお休みですが、19名の利用者が出勤されました。私はさくらの送迎車でご利用者を迎えに行きました。ご利用者のみなさんは、ワクワクしているような表情で送迎車を待っていました。しかし、どこか緊張しているような様子も。それもそのはず。この日は瑞穂町にある狭山谷公園にて、4年ぶりとなる第29回「福祉ふれあいまつり」が開催されました。公園に着くと、19



福祉作業所さくら

豚汁等のいい匂いがしてきました。お赤飯を販売しているテントの前には、長蛇の列が。さくらのご利用者も「お赤飯買いたい!」「なくなっちゃうから早く買った方がいいよ!」と言い、みなさんお赤飯が大好きということが伝わってきました。かくいう私も、お赤飯は好物です。ステージショーが始まると、ご利用者も一緒に踊ったり楽器を演奏したりしていました。



さくらでは日々、様々な業者から作業をいただいておりますが、制作したものが消費者であるお客様の手に直接渡るわけではありません。ふれあいまつりでは直接目の前にいるお客様の手に渡するため「自分が作ったもので喜んでくれる人がいる」ということを、いつも以上に実感できた良い機会であったのではないのでしょうか。(佐渡 悠希)

瑞穂町福祉ふれあいまつり

10月29日

瑞穂町福祉作業所さくら

がですか!」と、ひときわ明るい声を届けていました。お客様がテントの前を通ると「どうぞー見ていただくさい!」と積極的に声をかけるご利用者や「では、400円のお返しですね。ありがとうございます!」と丁寧に接客するご利用者の姿も。私が想像していたよりも一生懸命に声を出すご利用者の姿に心を打たれ、気が付けば、ご利用者に負けまいと接客している私がいまいました。まさにあかつきコロナの理念である「共に働く」でした。

さくらでは、ご利用者が手作りしたプレスレットやキーホルダー、ジュースを販売しました。私は自主製品の制作には携わっていませんが、制作期間中はいつも、作業場からにぎやかな声が聞こえてきました。作り終えると「楽しかった。」「またやりたい。」「次はいつ?」と、笑顔で話していました。

さくらでは日々、様々な業者から作業をいただいておりますが、制作したものが消費者であるお客様の手に直接渡るわけではありません。ふれあいまつりでは直接目の前にいるお客様の手に渡するため「自分が作ったもので喜んでくれる人がいる」ということを、いつも以上に実感できた良い機会であったのではないのでしょうか。(佐渡 悠希)

我が家のペット自慢

今回紹介するのは、相談支援センター・増淵明美さん家の猫さん、三毛猫の「みい」ちゃんです。



三毛猫の「みい」です。13年前に地域の保護猫を家族に迎えました。

警戒心が強く、常に家のどこかに隠れています。しかし、大好きな「ちゅーる」の誘惑には勝てません。

チャームポイントはツートンカラーのお鼻♡とってもお洒落でしょ?



研修報告

「今、旬です」障がい者就労・武蔵村山市における取組と制度改正

武蔵村山市

障害者就労支援センターとらいつ
センター長 富田真貴子

皆さん、ご存知ですか？ 武蔵村山市は今、障がい者雇用の分野で注目を浴びています。

巷では、障がい者の方の多様な就労の形を目指して福祉サービスの併用利用や超短時間就労といったことを模索しています。

武蔵村山市ではなんと、併用利用も超短時間就労ももう10年以上前から続けています!! 他の自治体からはどうやってきたのか、といった質問が多く寄せられています。

併用利用については大きく2つのパターンで認められてきました。一つは初めて就労した方が就労継続支援B型事業所の利用継続できるというもの。併用利用することによって、ご本人は精神的に安定して就労することができ、もう一つは超短時間就労をした場合、B型事業所の利用を認めるというもの。

それによって、週20時間に満たない就労であっても、生活のリズムを崩すことなく働くことができます。超短時間就労の場合は就労以外にも日中を過ごせる場が必要で、B型事業所の利用を認

めることでご本人にあった働き方を実現することができ、

とらいつでは、市民総合センターという公共施設での清掃作業で超短時間就労をサポートしてきました。週に6時間という超短時間の就労ですが、一般就労のためのファーストステップとしてとらえ、6名の方が働いています。

こういった働き方の多様性が生まれた背景には、鉄道の駅がないという閉鎖的な地域性により福祉系支援機関同士の関係が近く、きゅつと集約された顔の見える支援が実現しやすいということと、毎年とらいつが事務局を行って大型商業施設での障害者短期職場体験実習事業を通じて市内のB型事業所ととの連携が強く、他の自治体に比べて就労と福祉サービスの比でも近くにあるということにあると思います。

今後制度改正により、就労と福祉サービスの併用利用を認め、週10時間から20時間までの就労雇用率に反映させようという方向性が示されています。多様な働き方が認められることは好ましいのですが、逆に制度に縛られて柔軟な支給が認められなくなるのではないかと懸念があります。武蔵村山では併用利用も期間に制限なく支給されていましたし、以前は同日の併用利用も認められていました。

ご本人の生活にあわせて、併用利用を認めてもらいたいものです。とらいつとしては障害のある方の働きやすさを優先していろいろな形で就労を支えていきたいと考えています。

強度行動障害支援者養成研修に参加して

あかつきこころ相談支援センター
主任 神山 明美

東京都強度行動障害支援者研修（基礎研修）並びに（実践研修）に参加いたしました。

これは生活環境への著しい不適応行動や危険を伴う行動を頻回に起こしてしまう等、日常生活に困難が生じている強度行動障害がいのある方に対し、適切な支援を行うための支援者養成研修でした。

始めの基礎研修では強度行動障害の理解を深めました。強度行動障害の定義は、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動等ご本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態を意味する用語です。元々の障がいを示すものではなく、その人の状態を示すものです。

例えば、先の予測ができない、話し言葉の理解ができない、話

新

人

紹

介

瑞穂町福祉
センターあゆみ
東村 千枝さん



11月よりあゆみでお仕事をさせていただいています。まだ未熟で戸惑うこともあります、少しずつ経験を重ね楽しく働きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

あかつき授産所
作業部二課
野川 鈴蘭さん



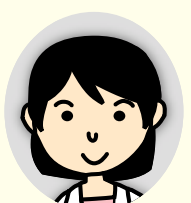
11月から勤務させて頂いています。以前は、重症心身障害児・者施設で務めていました。経験を生かして一生懸命頑張りたいと思っています。趣味は、愛犬と一緒に出かけをしたり、遊ぶことです。これからもよろしくお願いします。

武蔵村山市障害者
就労支援センター
とらいつ
鈴木 兼一さん



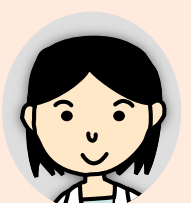
前職の府中市は26万人、武蔵村山市は7万人と約3倍の人口差ですが障害者就労支援センターの登録者数はほぼ一緒という事に驚きました。とらいつの地域における重要さを実感しております。とらいつの一員として頑張ります。

スペースまどか
中村奈津子さん



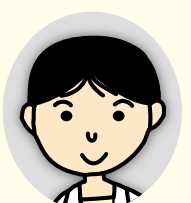
一人で静かに過ごすことが好きです。慣れないことも多いですが、よろしくお願いします。

スペースまどか
K・Y さん



9月からお世話になっております。趣味はゲームでスプラトゥーンを楽しんでいます。休みは散歩とアクション映画を観ています。よろしくお願いします。

スペースまどか
長倉 直希さん



前職は電気設備関係をしていました。趣味はキャンプです。よろしくお願いします。

主な事柄

し言葉で伝えることが出来ない、やり取りの量が多いと処理が難しい、見えないものの理解が難しい、抽象的で曖昧な表現の理解が難しい、少しの違いで大きな不安を感じる、聴覚の過敏や鈍麻がある等、障がいからくる苦手を抱え、不安や緊張が増し、さらに激しい行動をとることがあります。その時にその行動を止めるために本人の望むままの対応を繰り返していると「激しい行動をすることで自分の気持ちが伝わる」と理解し、激しい行動が定着してしまうことがあります。このように、適切な行動を教えられていなかったり、周囲が誤った対応を繰り返していることで、行動が激しくなっていくことを「強度行動障害の状況」といいます。

それには、自閉症の人たちの物事の捉え方に合わせた支援をすることで、自閉症の人たちが適切に学ぶことができ、強度行動障害がいくという状態に陥ることなく、より良い生活を送ることが出来るため、私たち支援者は、自閉症の人たちの特性を常に学び、支援の基盤に置く必要があるということでした。

課題となる行動には、障がいの特性に起因する何らかの理由があります。ご本人の特性や環境や状況を整理し、課題となっている要因を明らかにすることが根拠に基づく支援の第一歩とな

ります。また、ご本人を取り巻く生活のそれぞれの場面で関係者が本人を支える支援チームをつくり、本人の特性や配慮すべきことについて共通の認識を持ち、同じ方針に沿った統一した支援を行っていくことが大切となります。チームにおける情報共有や連携の方法が「個別支援計画」や「支援会議」、「サービスマニュアル」等利用計画、そして、「支援手順書」となります。

今回は、基礎研修において基本的な障がい特性や支援の方法を学び、実践研修においては、グループワークによる事例に基づき、実際に「支援手順書」作成し、グループ発表を行いました。

強度行動障害について、支援の方法の違いや行動の理解をするという支援の視点を学ぶことができ、大変勉強になりました。私のグループは、強度行動障害がいのある重度の方のグループホームや生活介護事業所の職員の方でした。グループワークで協力して行っていく中で施設での実際の支援の苦労話や利用者の方の具体的な状況を伺うことができ、経験がない私にとってはとても貴重な時間となりました。

今後も様々な障がいのある方の相談支援を行っていく上で、今回の研修で学んだことを支援に活かし、また、更に福祉について学びを深めていきたいと思いました。ありがとうございました。

- | | | | |
|------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 8月 | 2 夏の体験ボランティア受入れ (さくら) | 3 羽村特別支援学校職員職場体験受入れ (授産所) | 28 法人施設地域子供交流会 |
| 9月 | 4 防火設備点検 (法人施設) | 6 虐待防止マネジャー会議 | 21 法人施設地域子供交流会 |
| 10月 | 1 武蔵村山市福祉祭り | 3 共同募金活動 (授産所) | 24 法人施設地域子供交流会 |
| 11月 | 2 虐待防止・身体拘束適正化検討委員会 (あゆみ) | 3 空調設備点検 (あゆみ) | 25 福祉ふれあいまつり (あゆみ・さくら・瑞穂就労) |
| 12月 | 19 さくら災害時対応訓練 | 21 虐待防止マネジャー会議 | 30 BCP自然災害対策委員会 |
| 1月 | 10 精神保健福祉研修 (小林) | 9 お伊勢の森連絡会 (富田) | 14 あゆみ引渡し訓練 |
| 2月 | 10 WJ理事會 (高橋) | 3 電子帳簿セミナー (松木) | 19 さくら利用者健康診断 |
- 出張・研修**
- 法人施設地震避難訓練 (21日迄)
 - 法人施設利用者健康診断 (8日迄 授産所・まどか)
 - さくら日帰り旅行
 - 法人施設利用者健康診断
 - 法人施設利用者健康診断 (21日迄)
 - 法人施設地震避難訓練
 - 研究委員会
 - BCP感染対策委員会 (あゆみ)
 - 寿楽秋祭り (あゆみ)
 - 研究委員会
 - BCP感染対策委員会
 - 共同募金活動 (授産所)
 - 武蔵村山市福祉祭り
 - 研究委員会

16	現任者研修SV (増淵)	19	精神就労定着研修 (齋藤)	31	就労ネット (小林)	14	ハラスメント法人内研修 (齋藤・山崎・山下・遠藤)
17	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)	20	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)	2	精神就労定着連絡会講演会 (富田)	15	西多摩就労機関連絡会 (西出)
18	ファシリテーション研修 (18日迄 神山)	28	武蔵村山市就労支援部会 (富田・茂木)	9	就労ネット (永井)	19	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)
22	精神業務連絡会 (藤澤・富田)	29	就労ネット (小林・田中隆)	20	ゼンコロ理事会・総会 (永井)	20	強度行動障害研修 (神山)
24	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)	3	地域ささえあい連絡協議会 (戸村)	8	経営管理研修 (西田)	21	武蔵村山市就労支援部会 (富田)
28	社会福祉法人連絡会(戸村)	6	社会福祉法人連絡会部会 (山田)	10	羽村特別支援学校運営連絡協議会 (藤澤・富田)	21	就労ネット (鈴木・田中隆)
31	就労ネット(小林・田中隆)	12	サビ管更新研修 (西出)	14	地域連携会議 (大月)	21	就労ネット (鈴木)
4	虐待防止・権利擁護研修 (茂木)	13	就労ネット(鈴木・田中隆)	15	食品衛生講習会 (高橋・富田)	22	就労ネット (鈴木)
5	虐待防止・権利擁護研修 (戸村・西出)	17	ゼンコロ運営委員会 (遠藤)	16	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)	22	就労ネット (鈴木)
7	虐待防止法人内研修 (戸村・西出)	18	精神業務連絡会 (富田)	17	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
8	虐待防止法人内研修 (藤澤・富田)	19	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)	18	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
11	地域連携会議(藤澤・富田)	20	経営管理研修 (永井)	21	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
12	東社協ハラスメント研修 (戸村)	23	武蔵村山市就労支援部会 (富田・茂木)	22	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
14	虐待防止・権利擁護研修 (藤澤)	25	村山特別支援学校運営連絡協議会 (高橋)	23	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
15	サビ管更新研修 (15日迄 西出)	26	社会福祉法人連絡会部会 (山田)	24	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
15	ゼンコロスキルアップ研修 (神山・増淵・遠藤)	27	強度行動障害研修 (神山)	25	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
15	自衛消防訓練確認会	28	安全運転管理者講習会 (永井・五十嵐)	26	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
15	自衛消防訓練確認会	29	経営管理研修 (永井)	27	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
15	自衛消防訓練確認会	30	知的発達障害部会 (戸村)	28	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)
15	自衛消防訓練確認会	31	多摩ブロック連絡会	29	就労ネット(鈴木・田中隆)	22	就労ネット (鈴木)

8月	森田 和広(授産所)	8月	入所	9月	赤坂 凛(授産所)	9月	退所
9月	坂井 洋和(まどか)	9月	入所	9月	K・Y(まどか)	9月	退所
10月	染谷 浩代(あゆみ)	10月	入所	10月	中村奈津子(まどか)	10月	退所
11月	小林 広(とらい)	11月	入所	11月	鈴木 兼一(とらい)	11月	退所
12月	中平美裕子(まどか)	12月	入所	12月	野川 鈴蘭(授産所)	12月	退所
					東村 千枝(あゆみ)		
					長倉 直希(まどか)		
					坂井 洋和(まどか)		

寄 贈

8月1日、10月20日、東京
善意銀行様よりお米、お茶、
野菜のご寄贈を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。

9月15日、㈱ブルーミッシ
ユ様よりお菓子のご寄贈を
頂きました。謹んで御礼申
し上げます。

10月27日、㈱天乃屋様より
お菓子のご寄贈を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。

12月23日、福祉センターあ
ゆみにおいて、イオンモー
ルむさし村山様よりクリス
マスプレゼントのご寄贈を
頂きました。謹んで御礼申
し上げます。